

事務流通通信(3月)

第10号

令和7年3月21日(金)

文責:吉村 翔

3月の取り組みについて

3月は、校内検定とデュアルシステム型現場実習に取り組みました。

また、商品評価に取り組みました。

校内検定(2年生)

3月14日(金)に2年生5名を対象に「台車運搬・商品陳列」の校内検定を実施しました。

この検定は、納品書に記入してある商品を見て、その通りにピッキングしていくというものです。

今回は、事務流通室をお店という設定で行い、生徒達は、ピッキングした商品について納品書にチェックを付けるなどして間違いの無いように工夫をしながら、練習に取り組みました。

本番では、練習の成果を存分に発揮することができました。再検定を希望した生徒もおり、意欲的に取り組む姿が見られました。



デュアルシステム型現場実習(事務流通コース2年生)

3月12日(水)に長崎県学校生活協同組合様へ2年生2名が実習に行きました。注文された商品の指示書を見てピッキングする、発送準備の作業を行いました。

生徒達は、分からない時には、すぐ質問をし、丁寧に実習に取り組んでいました。また、休み時間には職員の方々と交流する様子も見られました。

3月末で、本年度予定されていたデュアル実習も終了となります。御協力いただきました丸野バンライン様、学校生活協同組合様におかれましては、大変お世話になり、誠にありがとうございました。来年もよろしくお願い申し上げます。



商品管理(1、2年生)

3月19日(水)に現在、事務流通コースが管理している自動販売機の商品について評価し、販売・管理に役立てるため、テイスティングを行いました。

生徒達は、香り、苦み、飲みやすさ、おすすめ度など、品種別に設定した5項目で評価を行いました。

今回のテイスティングを基に、生徒達による主体的な商品販売促進の取り組みのきっかけにしていきたいと思います。

